

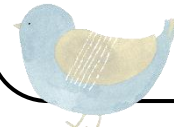
つみきのくらし

NO.13

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織

冬限定！そり滑りを楽しむ



雪は大人にとって厄介なものでありますが、子どもたちにとっては最高の遊びの素材であり、自然からの贈り物という存在でしょう。雪遊びの中でそり滑りは爽快感抜群であり、友だちと速さや滑った距離を競ったり、そりを連結して楽しむ工夫もできる大好きな遊びの1つです。また「滑りたい！」という気持ちが何度も山を登る意欲につながって、たっぴりと身体を動かしています。



↑神秘的・・・



「よいしょよいしょ」と女の子(1歳)がそりを運び、スタンバイして滑るまで、見届けていた男の子(5歳)その後、そのまま滑っていきました。



2人乗りも人気です。様々な年齢で楽しめます。



「誰か押してくれないかなー」



凧あげを楽しむ人たち。「風はどこにあるんだろう」と探している子どもいました。



お正月限定！獅子舞登場！



←つみきの獅子舞

↓子どもたちにはこう見えたり、感じたりしているのかも！？



獅子舞は、無病息災を願う伝統行事として新年会で行っています。大人にとっては、かわいい？ひょうきん？な顔仕様になっていますが、子どもにとっては怖いものには変わりはないようです。新年会では、獅子舞が登場する気配を感じた人たちは、早々に保育者の周りに集まったり、しがみついたり。泣いている人、あえて頭を差し出して噛んでもらおうとする人など様々でした。『今年は事故無く、病気や感染症に負けず元気に過ごせますように！』



保育者にしがみつくと子どもたち。



お正月遊びでなくとも、園長先生と楽しむ限定イベント『つりほり』